

NPO法人えん 富戸ケアファームプロジェクトキックオフセミナー

農業を通じた認知症診断後支援

～認知症になっても自分らしく、暮らすために～

2025年には、高齢者の5人に1人が認知症となると言われています。認知症と診断を受けても、本人が必要とする支援に繋がらず、その間に社会的孤立やQOLの低下が進んでしまう「空白の期間」への対応が急務となっています。「空白の期間」への対応は介護保険制度とは別の枠組みで、地域の様々な人々や団体が連携して取り組むことが必要とされています。この度、介護事業者、農業団体、医療機関、行政、研究機関等が連携し、伊東市内における「空白の期間」への対応、すなわち認知症診断後支援に関するプロジェクトを立ち上げました。

このセミナーでは、プロジェクトの概要をご説明するとともに、認知症診断後支援の現状と課題を学び、認知症になっても自分らしく暮らし続けるためにどうしたらよいか、皆様と考えたいと思います。

基調講演

「認知症診断後支援の現状と課題」

東京都健康長寿医療センター研究所 副部長 岡村毅、 研究員 宇良千秋

講演① 「認知症疾患医療センターにおける診断後支援」

伊東市民病院認知症疾患医療センター 主任保健師 曾根典子

講演② 「富戸ケアファームプロジェクトの概要」

NPO法人えん代表理事 サポートハウスえん管理者 高田仁里

講演③ 「NPO法人笑顔のきずなの取り組み」

NPO法人笑顔のきずな 理事長 宮崎朝夫

日時 令和5年4月20日（木）午後1時00分～3時00分（12時45分開場）

開催場所 ひぐらし会館 3階ホール（伊東市桜木町1丁目1-17）

入場料金 無料

対象 認知症の人に関わる医療・介護職の方、認知症に関心のある方

定員 70名（会場参加）、50名（オンライン（Zoom）参加）



お問合せ

NPO法人えん 担当：高田
連絡先：npo.en.daycare@gmail.com
※メールでお問い合わせ下さい。

申込方法

Google フォームでのお申し込みとなります。
（<https://forms.gle/wWbWFiVZaB2fjM9X8>）
お申し込みは右記のQRコードをご活用下さい。

